

# 市政報告 「明日の習志野」 第12号

完全無所属

発行者：習志野市議会会派「明日の習志野」  
代表 大宮こうた



## 新しい総合計画、前向きなまちづくりにチャレンジ！

会派「明日の習志野」代表、大宮こうたです。いつもご支援、ご協力ありがとうございます。**2026 年も前向きなまちづくりを推進**していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

習志野市は、この 4 月から実施する総合計画（基本構想、基本計画、実施計画）を策定中です。この総合計画は「**まちづくりの基本方針**」といえるもので、2042 年 3 月までの 16 年間をその実施期間としています。私は、この計画をととても重視し、様々な提案を行ってきています。今号は、その提案内容のポイントをご報告します。

### ① まちづくりの基本：ワクワクするチャレンジを！

まちづくりの基本は、**誰もが暮らしやすく、安全・安心なまちをつくる**ことです。そのうえで、国内外の変化が激しい時代においては、安易な前例踏襲や現状維持は「後退」に等しく、主体的にチャレンジすることが未来を拓くために重要です。私は、このような考え方で、市に対して「**みんなで豊かな未来を拓く、ワクワクする習志野へ**」という提言書を出して、市の総合計画につなげました。変化を恐れるのではなく、**変化を楽しみながら、みんなで前向きなチャレンジをしていくことのできるまちづくりを進めて**いきます。

### ② 駅周辺のまちづくり：未来に向けた動きを！

成田空港は機能の拡張、羽田空港はアクセスの改善が進んでいます。成田空港に直結する京成線の各駅、そして、羽田空港アクセス線（新木場駅と羽田空港をつなぐ新ルート）の開業予定で**沿線価値の高まる JR 京葉線の新習志野駅は、まちづくりの潜在性がとても大きい**です。毎日、数万人の人々が行き交う駅とその周辺を整備していくことは、まちににぎわいをもたらす、わたしたちの生活を豊かにします。

新習志野駅については、私から提案をし続けたことで、総合計画において「**新習志野駅勢圏の活性化**」が重要な政策となりました。今、市役所に設置された検討委員会が将来プランを策定中です。南船橋駅の周辺のように盛りあげていくために、私は、**海辺、そして、市外への広がりも視野に入れて、総合的な視点で、にぎわいを生み出すまちづくり**をしていきます。そして、新習志野駅周辺での取組を踏まえて、他駅の周辺についてもその個性や潜在性を活かした、ワクワクするまちづくりを進めます。



2026 年も、完全無所属の政治家として、しがらみ等一切なく、前向きなまちづくりに取り組み、市政の刷新につなげていきます！



提言書（上記 QR コード、ネット検索「大宮こうた 活動報告」からご覧いただけます）では、私のまちづくりへのビジョンや政策を示しています。



新習志野駅について、広い駅前広場・ロータリーを活用して、複合商業施設やマンション等の建設を検討していくべきと提案しています。

### ③ 教育：「義務教育の無償」原則、真の実現を！主体的な学びを！

教育は、一人一人の人生においても、社会の担い手を育てるという意味でも、とても重要です。重点的に取り組んできた結果、教材の共用品化（彫刻刀セット、30cmものさし等）、中学の制服等の見直し、そして、学校給食の無償化（2026年2月・3月分）の実現につながりました。日本国憲法第26条に基づいて、義務教育は無償とすることをこれからも追求していきます。

また、米国で学び、アフガニスタンやインドネシア等の世界で働いてきた経験を活かして、**視野の広く、世界に通用する「主体的な学び」**を習志野市で実現していきます。

### 習志野文化ホール、長期の再利用を！

2025年12月の議会では、閉館中の習志野文化ホールの改修について審議されました。「現ホールを改修して再利用をする」という方針を示した市に対して、私は、①再利用期間は、市の示した「おおむね10年間」ではなく、耐震等の安全性が確保される限り**できるだけ長期間の再利用**とすべき、②今回のような事態を二度と繰り返さないために、数十年間の**再利用後には他の市有地に移転すること**（注：現在、市には建物の7%の所有権しかありません）を検討すべき、③**市民への丁寧な情報発信と説明**をすべき、という3つの主張をしたうえで、賛成しました。今後も、未来志向で具体的な提案をしていきます。

### オンラインでの報告：毎月行っています！

毎月一回、オンライン（Zoom）で、活動報告や意見交換を行っています。開催については以下のWebサイトでご案内します。「聞くだけ」、「画面OFF」でも構いません。お気軽にご参加ください。

<https://www.omiya-kota.jp/meeting/>

### 会派・所属議員の紹介

#### 【会派】明日の習志野（あすのならしの）

2023年5月、ワクワクする習志野を創るために結成された会派。特定の政党や組織の支援は一切受けずに、**対話重視、現場主義、前向きな提案**を活動指針としている。

#### 【所属議員】①大宮こうた

1980年7月生まれ、1期目。東京大学教養学部卒、米国シラキュース大学行政大学院修了。JICA（国際協力機構）勤務後、**ワクワクするまちづくりで習志野を盛り上げるため、完全無所属**で2023年4月の市議選で当選（3位）。

### ともに、明日の習志野へ

日常的な発信はブログ、X（旧Twitter）、Instagram、ブログ、Youtube等で行っています。オフィシャルサイトのリンクからご覧ください。**市政報告のバックナンバーもサイトからご覧いただけます。**ご要望、ご意見等もお待ちしています。

特に、一緒に習志野を盛り上げたい方、習志野市政に挑戦したい方、ぜひご連絡をいただければ幸いです。ともに、明日の習志野に向かって、習志野市政に前向きでワクワクする変化をもたらしていきましょう！

【連絡先】✉ [info@omiya-kota.jp](mailto:info@omiya-kota.jp)

☎ 090-9130-9434



「隠れ教育費」の問題は、物価高騰の影響によって注目が高まっています。教育とは何のためにあり、その経費は誰がどのように担うべきなのか、憲法の理念による見直しが必要です。



「音楽のまち・習志野」の拠点である文化ホール。どうあるべきか、どこに設置すべきか、改めて、根本的な議論をしていくべきタイミングです。

